

火災・救急対応にスマートフォンを活用

火災が発生した時や、急な病気やけがで助けが必要な時など、消防車や救急車を要請するために使う119番通報。スマートフォンを使って、映像を交えて通報できる「映像通報システム(Live119)」の運用を開始しました。

現場の状況を映像で共有

119番通報をすると、ちば消防共同指令センターに「火災なのか救急なのか」「出動場所はどこなのか」といった情報を指令管制員から聞き取られ、救助を要請できます。

「映像通報システム」では、災害現場や傷病者の状況を音声だけでなく映像も交えて、指令管制員とやりとりすることになるので、口頭では説明しにくい現場の状況も簡単に伝えることができます。

また、応急手当ての方法が分からない場合は、指令管制員から応急手当ての動画を受信することで、動画を見ながら処置ができるようになります。

現場に到着した消防隊・救急隊の迅速・的確な活動や救命率の向上につながるが見込まれています。



通報を受け付けるちば消防共同指令センター

登録不要ですぐに使えます

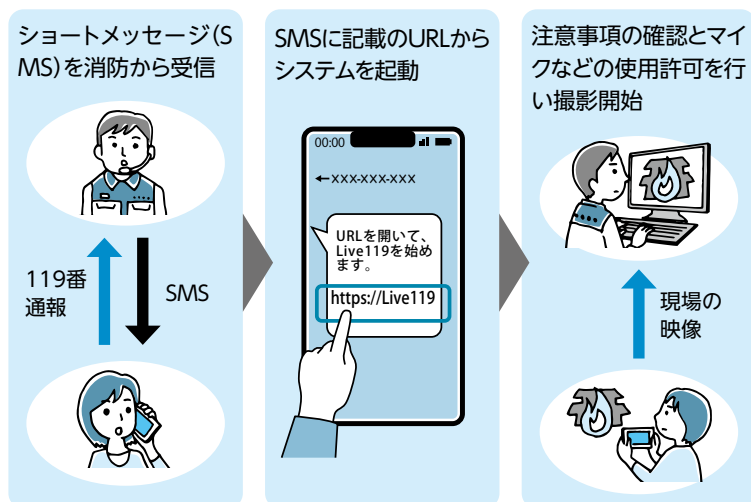
事前登録やアプリのダウンロードは不要です。指令管制員から送信されるショートメッセージ(SMS)に記載されているURLに接続することで、すぐに利用できます。利用料は無料ですが、通信料はかかります。

詳細は、ちば消防共同指令センターホームページ

シ(<http://chb1018.hs.plala.or.jp/report/ive.html>)を確認してください。

※くわしくは警防課(☎20・1562)へ。

映像通報システムの利用の流れ



☎119番通報をつないだまま

